

## はじめに

本ドキュメントでは、AOS の問題について Nutanix サポートに問い合わせをする際に必要となる基本的な診断資料の収集方法をご案内します。サポートケースの起票時に、問題の状況を示す資料に加えて本ドキュメントでご案内する初期診断のための構成資料を添付頂くと、初動調査の迅速化に繋がります。

本ドキュメントが対象とする情報は、Pulse が有効なクラスターであれば、お客様の操作を必要とせず、Nutanix サポートエンジニアがリモートから収集することができます。この機能の詳細については、[\[Pulse\(パルス\)の設定と Nutanix Insights\]](#) を参照ください。

問題によっては、初動調査あるいは調査の進展に伴い、このドキュメントに示す以外のスクリーンショット、コマンド結果あるいはログの共有をお願いする場合がございます。適宜、Nutanix サポートからのご案内に従い、情報共有へのご協力をお願いいたします。

## [目次]

- 1 [本ドキュメントが対象とする初期診断資料](#)
- 2 [Prism \(GUI\)からの情報収集](#)
  - 2.1 [NCC ヘルスチェックの実行・収集 \(GUI\)](#)
  - 2.2 [AOS 構成情報の収集 \(GUI\)](#)
- 3 [CLI\(CVM への SSH ログイン\)からの情報収集](#)
  - 3.1 [CVM への SSH ログイン方法](#)
  - 3.2 [NCC ヘルスチェックの実行・収集 \(CLI\)](#)
  - 3.3 [AOS 構成情報の収集 \(CLI\)](#)
- 4 [参考情報](#)

## 1. 本ドキュメントが対象とする初期診断資料

本ドキュメントでは、多くの問題調査において必要となる以下**2つ**の情報収集を対象とします。

- ・ **NCC ヘルスチェック (数十～数百 KB 程度)**

クラスタの健全性を包括的にチェックするヘルスチェックの最新の結果

- ・ **AOS 構成情報 (十数 MB x ノード数 程度)**

クラスタ・ハードウェアの構成や主要な設定等、基本的な AOS 環境理解のために必要な情報

本ドキュメントの手順では製品の動作ログは収集しませんが、おおよそ同様の手順を使用して収集することが可能です。容量見込み等の事情とあわせ、適宜弊社サポートエンジニアのご案内に従ってください。

**Prism(GUI)**から実施する手順と、**CLI(CVM への SSH ログイン)**から実施する手順の**2通りがありますので、いずれか実施しやすい方の手順**で実施ください。

本ドキュメントにてご案内する手順は、本ドキュメント掲載時点のサポート中 AOS で実施可能です。

収集した資料の送付手順は、[\[Nutanix サポートへファイルを送付する\]](#) を参照ください。

## 2. Prism (GUI)からの情報収集

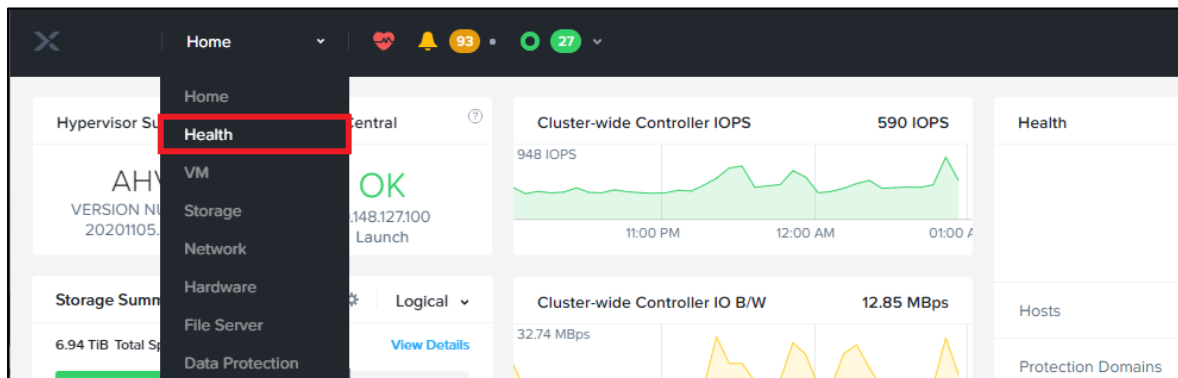
本章では、Prism (GUI)を使用した情報収集手順をご案内します。

この手順を実行するには、いずれかの CVM に接続可能な PC またはサーバーより、Web ブラウザーを使用して **https://<Virtual IP >:9440/** にアクセスし、それぞれのコマンドを実行します。

### 2-1. NCC ヘルスチェックの実行・収集 (GUI)

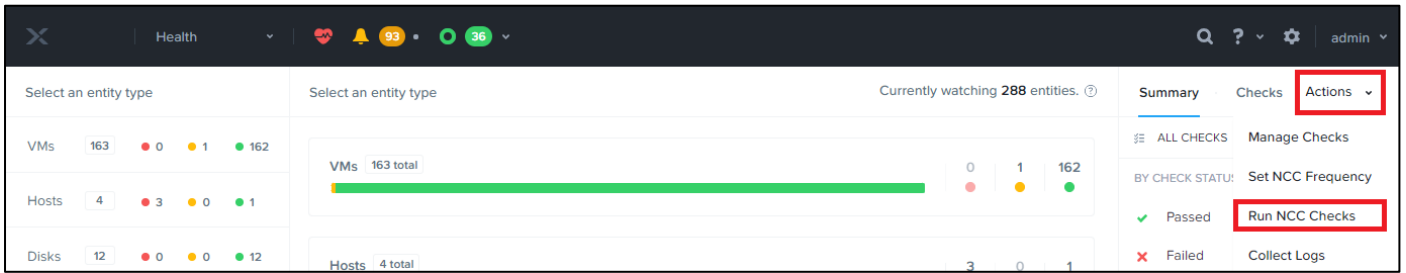
[Health (健全性) メニューへ移動]

Prism 左上のドロップダウンメニューより、**Health (健全性)** をクリックします。



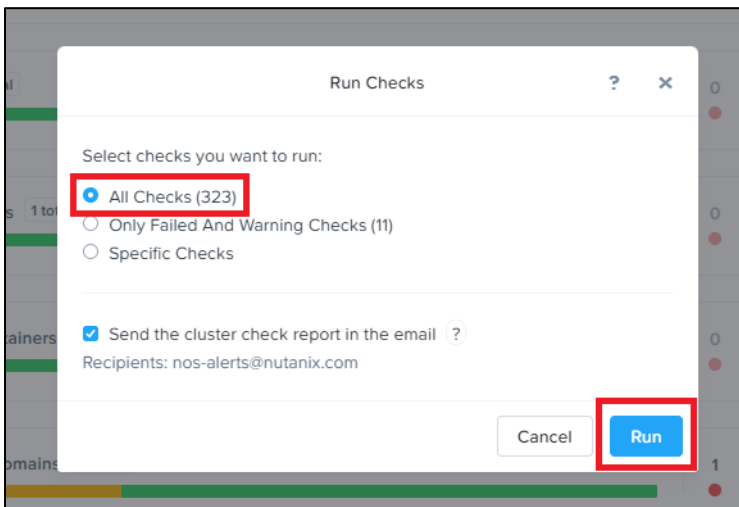
## [NCC Health Check の実行]

遷移した画面右上の **Actions -> Run NCC Checks (NCC チェックの実行)** をクリックします。

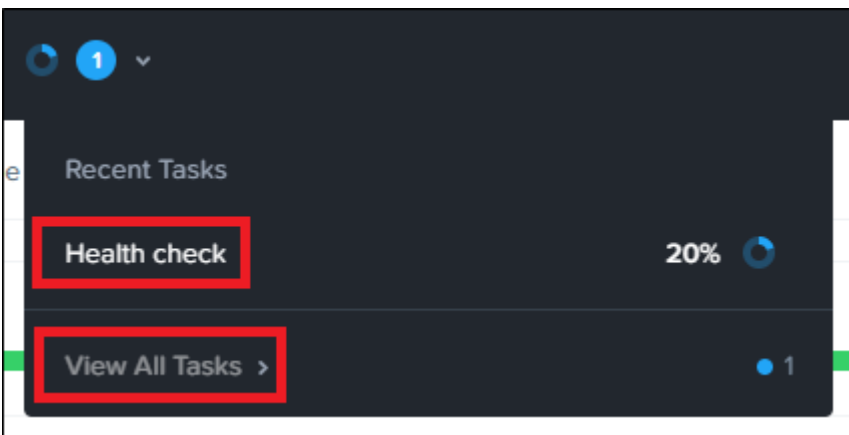


表示されたダイアログにて **All Checks (すべてのチェック)** を選択し、**Run** をクリックします。

※ ()内の数字は環境によって異なります。



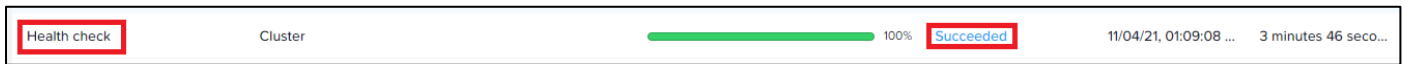
しばらくすると、**Health check** のタスクが作成されますので、完了する(100%)まで待機します。



## [NCC Health Check 結果の取得]

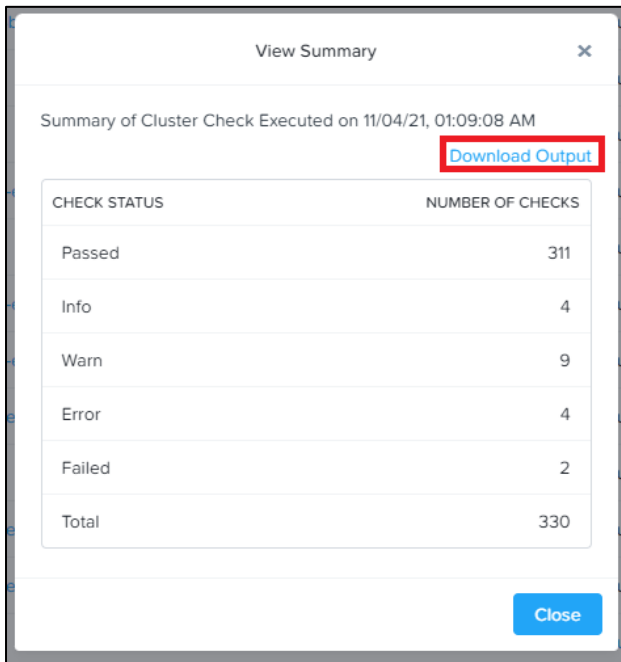
タスクが完了したら、**View All Tasks(すべてを表示 タスク)**をクリックするか、Prism 左上のドロップダウンメニューより、**Tasks (タスク)** をクリックします。

表示される **Health check** のタスクの **Succeeded** をクリックします。



表示されたダイアログにて **Download Output (出力をダウンロード)** をクリックすると、結果のテキストファイルがダウンロードされます。

このファイルの送付をお願いいたします。



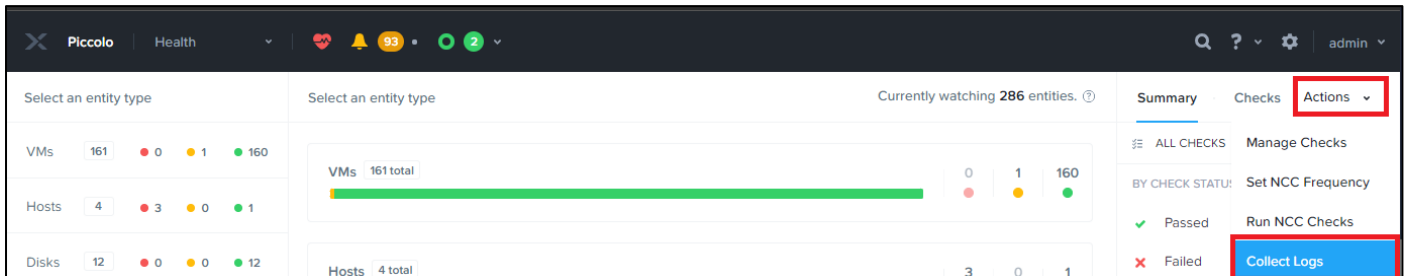
## 2-2. AOS 構成情報の収集 (GUI)

[Health (健全性) メニューへ移動]

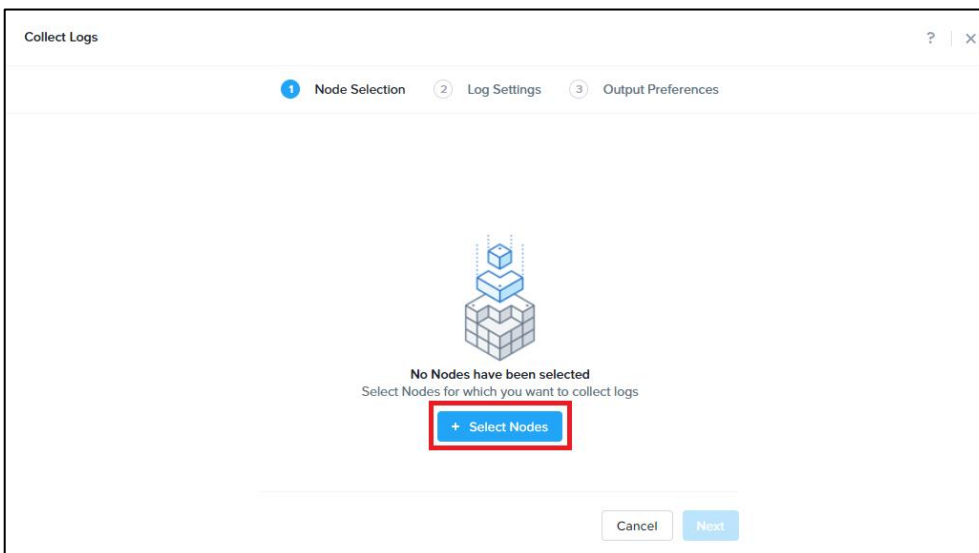
Prism 左上のドロップダウンメニューより、**Health (健全性)** をクリックします。

[ログ収集ダイアログの表示と対象ホスト選択]

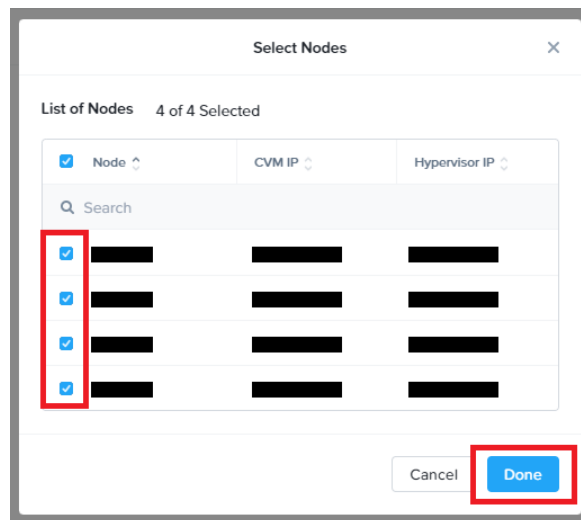
遷移した画面右上の **Actions -> Collect Logs (ログの収集)** をクリックします。



+**Select Nodes (ノードの選択)** をクリックします。



表示されるダイアログですべてのノードを選択して **Done(完了)** をクリックします。



ノードが全て追加されたのを確認、Next をクリックします。

Collect Logs ? | x

1 Node Selection 2 Log Settings 3 Output Preferences

List of Selected Nodes (4)

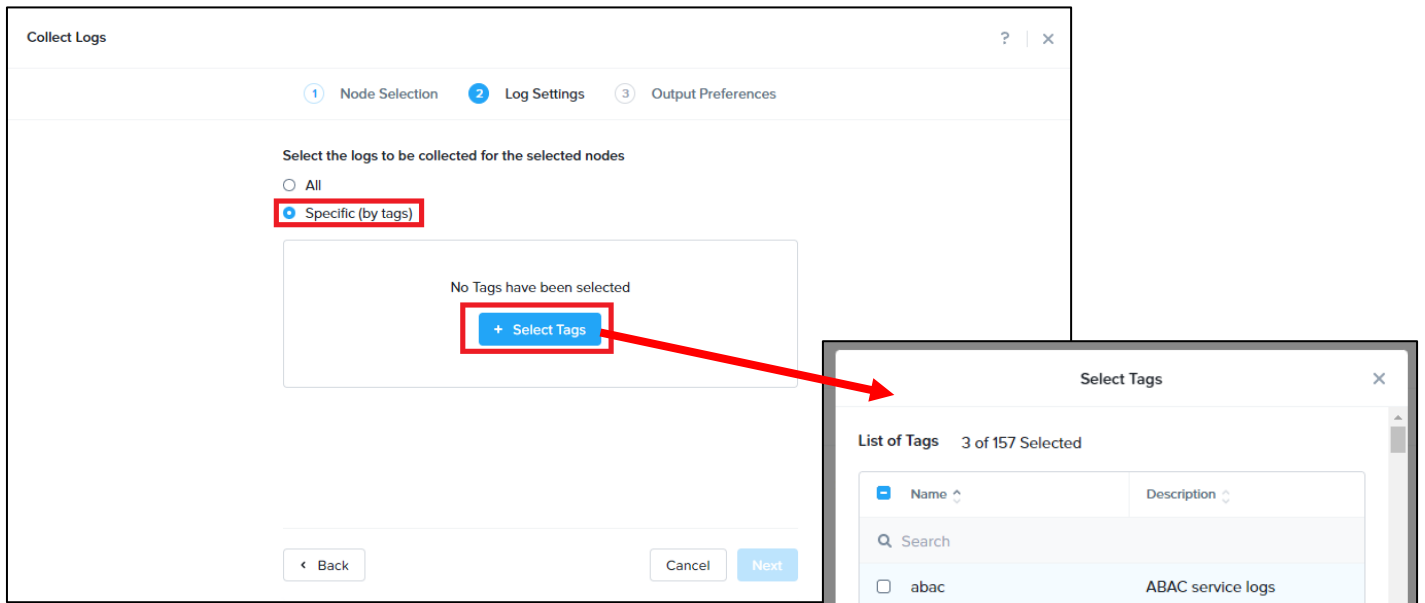
Logs will be collected for the selected Nodes [+ Add Node](#)

Node	CVM IP	Hypervisor IP	
████	██████████	██████████	<a href="#">Remove</a>
████	██████████	██████████	<a href="#">Remove</a>
████	██████████	██████████	<a href="#">Remove</a>
████	██████████	██████████	<a href="#">Remove</a>

[Cancel](#) [Next](#)

[初期診断に必要なタグの選択]

**Specific (by tags) (指定 (タグごと))** を選択後、+ **Select Tags (タグの選択)** をクリックし、表示されるダイアログで以下のタグを選択して **Done(完了)** をクリックした後、**Next (次へ)** をクリックします。



表示されたダイアログにて

以下のタグを全て指定

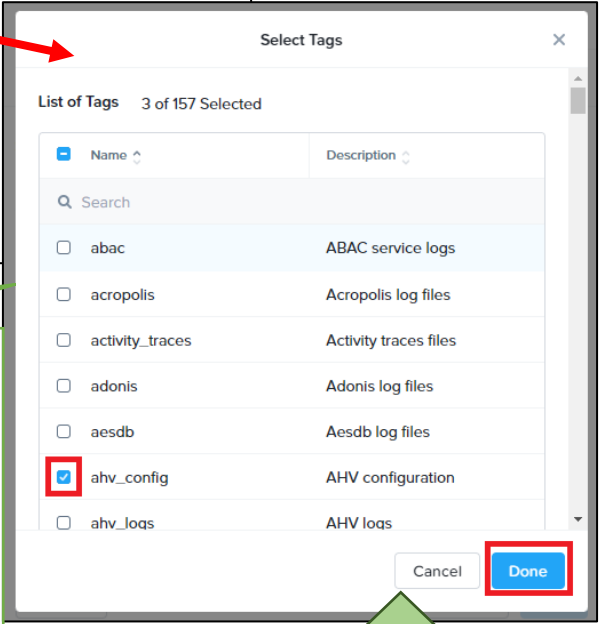
かならず指定するタグ

- alerts
- cvm\_config
- hardware\_info



ハイパーバイザーに応じて指定:(3つのうち1つ)

- AHV の場合 : **ahv\_config**
- ESXi の場合 : **esx\_config** (esxi\_config ではないので注意)
- Hyper-V の場合 : **hyperv\_config**





Duration (期間)は何も指定せずに **Collect** をクリック

Collect Logs

Select Duration

Select Duration for the Logs to be collected

4 Hours

Cluster Date: 11/04/2021

Cluster Time: 15:22:52

Corresponding Browser time: 15:22:52, 04/11/2021

Select Destination for the collected logs

Select Server where the logs can be collected

Download Locally

Logs will be collected on respective nodes

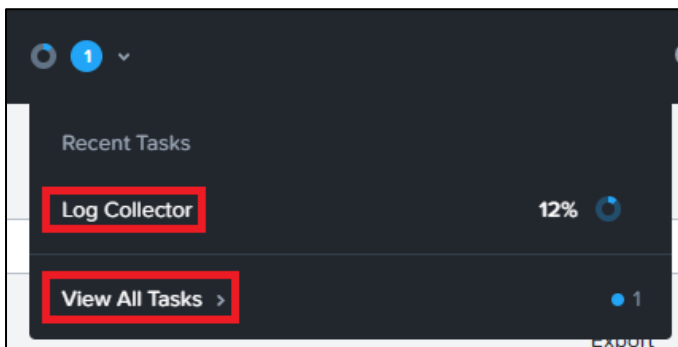
Anonymize Output

This masks all the sensitive information like the IP addresses. It is resource-intensive and not recommended for effective debuggability.

< Back Cancel **Collect**

[ログ収集結果の取得]

しばらくすると、**Log Collector** のタスクが作成されますので、完了する(100%)まで待機します。



タスクが完了したら、**View All Tasks(すべてを表示 タスク)**をクリックするか、Prism 左上のドロップダウンメニューより、**Tasks (タスク)** をクリックします。

表示される **Log Collector** のタスクの **Succeeded** をクリックすると、zip ファイルがダウンロードされます。

このファイルの送付をお願いいたします。

Operation Message	Entity	Percent	Status	Create Time	Duration
<b>Log Collector</b>	Cluster	100%	<b>Succeeded</b>	11/04/21, 03:39...	22 minutes 46...

### 3. CLI(CVM への SSH ログイン)からの情報収集

本章では、CLI を使用した情報収集手順をご案内します。

この手順を実行するには、いずれかの CVM に接続可能な PC またはサーバーより、**nutanix** ユーザーを使用して SSH ログインし、それぞれのコマンドを実行します。

※ Prism へのログインへ使用する **admin** ユーザーと異なりますのでご注意ください。

#### 3-1. CVM への SSH ログイン方法

CVM への SSH ログインは、いくつかの方法で実施可能です。

[OS 付属の SSH コマンドを使用する]

下記のコマンドを OS のターミナルから実行します。

```
ssh nutanix@<いずれかの CVM の IP アドレス>
```

- Windows の場合: PowerShell から実行可能です。Windows のバージョンによっては SSH コマンドが使用できない場合がございます。
- macOS の場合: ターミナルから実行可能です。

上記コマンドを実行すると、以下のような表示が得られますので、適宜入力してログインします。

※ 冒頭の **The authenticity of host...** の表示は、2 回目以降のログイン時は表示されません。

```
The authenticity of host 'XXX.XXX.XXX.XXX (XXX.XXX.XXX.XXX)' can't be established.  
ECDSA key fingerprint is SHA256:XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.  
Are you sure you want to continue connecting (yes/no/[fingerprint])? yes <<< yes を入力して Enter  
Warning: Permanently added 'XXX.XXX.XXX.XXX' (ECDSA) to the list of known hosts.  
Nutanix Controller VM  
nutanix@XXX.XXX.XXX.XXX's password: <<< nutanix ユーザーのパスワードを入力して Enter  
Last login: Thu Nov 4 00:37:17 JST 2021 from XXX.XXX.XXX.XXX on ssh  
Last login: Thu Nov 4 00:37:18 2021 from XXX.XXX.XXX.XXX  
  
Nutanix Controller VM (CVM) is a virtual storage appliance.  
  
Alteration of the CVM (unless advised by Nutanix Technical Support or  
Support Portal Documentation) is unsupported and may result in loss  
of User VMs or other data residing on the cluster.
```

Unsupported alterations may include (but are not limited to):

- Configuration changes / removal of files.
- Installation of third-party software/scripts not approved by Nutanix.
- Installation or upgrade of software packages from non-Nutanix sources (using yum, rpm, or similar).

\*\* SSH to CVM via 'nutanix' user will be restricted in coming releases. \*\*

\*\* Please consider using the 'admin' user for basic workflows. \*\*

nutanix@NTNX-XXX-X-CVM:XXX.XXX.XXX.XXX:~\$ <<< ここに随時コマンドを入力して Enter

[TeraTerm、PuTTY 等の SSH ソフトウェアを使用する]

ログイン時の操作はソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの手順に従い、IP アドレス・ユーザー名(**nutanix**)・パスワード等を入力してログインください。

以降では、実行するコマンドを以下のように表記します。

nutanix@cvm\$ <実行するコマンド>

上記の場合、**nutanix@cvm\$** は表示されている受付ターミナルを示し、入力しません。

必要なコマンドの結果が得られたら、**exit** コマンドで CVM からログアウトします。

### 3-2. NCC ヘルスチェックの実行・収集 (CLI)

以下コマンドを実行して、ヘルスチェックを実行します。

```
nutanix@cvm$ ncc health_checks run_all
```

実行すると、以下のような長い出力が得られます。

```
#####  
# TIMESTAMP : 11/04/2021 12:53:12 AM (UTC +0900)  
#####  
ncc_version: XX.XX.XX-XXXXX  
cluster id: XXXXXX  
cluster name: XXXXXX  
(中略)  
+-----+  
| State      | Count |  
+-----+  
| Pass       | 229   |  
| Info       | 4     |  
| Warning    | 9     |  
| Fail       | 2     |  
| Error      | 4     |  
| Total Plugins | 248  |  
+-----+  
  
Plugin output written to /home/nutanix/data/logs/ncc-output-latest.log
```

このすべての出力内容をテキストエディタにコピーするなどして、送付をお願いいたします。

### 3-3. AOS 構成情報の収集 (CLI)

[AOS 構成情報収集コマンドの実行]

以下コマンドを実行して、AOS 構成情報収集コマンドを実行します。

```
nutanix@cvm$ logbay collect -t alerts,cvm_config, hardware_info,<hypervisor_config>
```

※ <hypervisor\_config> の箇所は、お使いのハイパーバイザーによって以下のように置き換えます。

- ・ AHV の場合 : **ahv\_config**
- ・ ESXi の場合 : **esx\_config** (esxi\_config ではないので注意)
- ・ Hyper-V の場合 : **hyperv\_config**

※ <hypervisor\_config>とその前の , の間には空白を入れず続けて記載してください

実行すると、以下のような出力が得られます。

```
Time period of collection: Wed Nov  3 21:41:54 JST 2021 - Thu Nov  4 01:41:54 JST 2021
Creating a task to collect logs...
Logbay task created ID: XXX.XXX.XXX.XXX::c1d98d6f-50b2-44be-a189-9c70f6bc9798
[-----]
Collecting logs on individual nodes.
(中略)
XX.XX.XX.XX
Archive Location XX.XX.XX.XX:/home/nutanix/data/logbay/bundles/NTNX-Log-2021-11-04-1635957717-
3868218380898825567-PE-XX.XX.XX.XX.zip
(中略)
Total Collected Items: 339
Total Unarchived Data Collected: 366.9 MB
```

**Archive Location** の行に CVM の IP アドレスとその CVM で出力されている zip ファイルのパスが表示

されます。**全ての CVM からそれぞれ回収し、全ファイルの送付**をお願いいたします。

[CVM からの AOS 構成情報ログの回収]

CVM からのファイル回収は、いくつかの方法で実施可能です。

- OS 付属の SSH コマンドを使用する

```
scp nutanix@<CVM の IP アドレス>:<zip ファイルのパス> ./
```

- Windows の場合: PowerShell から実行可能です。Windows のバージョンによっては SSH コマンドが使用できない場合がございます。
- macOS の場合: ターミナルから実行可能です。

上記コマンドを実行すると、以下のような表示が得られますので、適宜入力してログインします。

※ 冒頭の **The authenticity of host...** の表示は、2 回目以降のログイン時は表示されません。

```
The authenticity of host 'XXX.XXX.XXX.XXX (XXX.XXX.XXX.XXX)' can't be established.  
ECDSA key fingerprint is SHA256:XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.  
Are you sure you want to continue connecting (yes/no/[fingerprint])? yes <<< yes を入力して Enter  
Warning: Permanently added 'XXX.XXX.XXX.XXX' (ECDSA) to the list of known hosts.  
Nutanix Controller VM  
nutanix@XXX.XXX.XXX.XXX's password: <<< nutanix ユーザーのパスワードを入力して Enter  
NTNX-Log-2021-11-04-1635957717-3868218380898825567-PE.zip          100%  28MB  8.7MB/s  00:03
```

- WinSCP 等の SSH ソフトウェアを使用する

ログイン時の操作はソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの手順に従い、IP アドレス・ユーザー名(nutanix)・パスワード等を入力してログイン・収集ください。

※ TeraTerm の SSH SCP 機能は、CVM のセキュリティ設定の都合により使用できません。

※ CLI 手順で収集を実施した後に、「AOS 構成情報の収集 (GUI)」の後半の手続きに従って Prism からダウンロードすることも可能です。この場合は、全ての CVM のファイルが一つの zip ファイルにまとめてダウンロードされます。

## 4. 参考情報

[Log Collection - Nutanix Cluster Check (NCC) 4.6.0 Guide]

[https://portal.nutanix.com/page/documents/details?targetId=NCC-Guide-NCC-v4\\_6:ncc-ncc-log-collection-c.html](https://portal.nutanix.com/page/documents/details?targetId=NCC-Guide-NCC-v4_6:ncc-ncc-log-collection-c.html)

※ 必要に応じて、[Software Documentation](#) よりご利用の NCC バージョンに応じたドキュメントをご参照ください。